

保育計画成果報告書

| | |
|---------|---|
| 法人名等 | 社会福祉法人 千寿会 |
| 施設名 | なのはなこども園 |
| 報告者（役職） | 牧田 祐子（園長） |
| 住所・連絡先 | 福井県福井市下森田藤巻町 201 |
| | ☎ 0776-56-1600 E-mail nanohana@senjyukai.com |

○タイトル（保育計画）

感性と表現豊かな なのはなキッズ～健康な心と身体を育てよう～

○主な助成備品

- ・防滴ワイアレスアンプ ・ワイアレスチューナーユニット ・Bluetooth ユニット
- ・多目的ひな段、巧技台蓋、小柁、大柁、跳箱台、斜面板、シーソー、ぼるだボード
- ・スライドテントひざしカット(ウエイト付)

1. 保育計画策定の目的

本園は、2021年に開園しました。多くの備品を揃えたつもりでしたが、子ども達が活発になっていくにつれて遊びの幅が広がり、豊かな感性と表現を育てるためのより多様な物的環境を充実させていきたいと願うようになりました。園生活の中で身近な周囲の環境と関わりながら、感じる事、考える事、イメージを広げることなど、より多くの経験を重ねることで豊かな感性と表現する力を培うことができると考えています。

また、健康な心と身体を育てるために、よりよい環境の中で十分に身体を動かしたり、音を感じての運動遊びをしたり、表現遊びを楽しむことで、幼児期の成長・発達をよりいっそう高めていきたいと思っています。

子ども達の物的環境を整えて、一人ひとりが自分の存在を実感し、充実感を得て、安定した気分で園生活を楽しむことができるようになって欲しいと願っています。

2. 具体的な実施内容



【巧技台】

保育室で巧技台を用いて立体（縦）の運動遊びを取り入れ、子ども達に必要な縦方向への動き、立体的な動きを楽しんでいます。全身を使ってバランスを取りながらゆっくり登ったりかがんだり、保育者と一緒に登り降りをして安定してしゃがめる筋力や認知力を身に付けています。



【斜面板】

遊戯室ではさまざまな道具を取り入れサーキット遊びをしています。斜面板を使い少し傾斜を付け立ったまま登ったり、降りたりすることで歩行の成長だけでなくバランス感覚などを磨くことができました。巧技台の上からジャンプしたり、梯子などと組み合わせたりし使用したことで、4肢をふんだんに使って渡り、手足の発達やバランス感覚を促しています。

「やってみたい」「自分でやりたい」という子どもの気持ちを尊重し、自分で考えたり身体を動かしたりしながら達成する喜びを感じられるようにしています。



【シーソー】

シーソーで身体全体を使って上下運動を楽しむことで体幹が鍛えられました。

取っ手をしっかり握る「握力」地面を思い切り蹴る為の「脚力」上下運動の為の「リズム感」や「バランス感覚」を養うことができ、また一人ではできない遊びの為、自然と友達との言葉のやり取りも増えています。



【ぼるだボード】

垂直のぼるだボードは、巧技台の高さを変えることで傾斜も変わってくるので、成長や発達によって難易度を変えることができ年齢に関係なく楽しんでいきます。

登る際に手や足を見ながら確認し慎重に登ったり、自分でコースを選びながらどうすれば早く上がれるかなど考えたりしながら、しっかり踏ん張っていくことで下半身も鍛えられています。

ぼるだボードの順番を待っている際は、友達を応援し一緒に楽しむ姿や、回りで応援してもらうことでコミュニケーション能力や協調性を養っています。



【テント】

子ども達が大好きな水遊びを楽しむため、テラスに熱中症対策としてテントを設置しました。水がピチャピチャする感覚や、触れて冷たいと感じる感覚を楽しみながら、水面を手で叩いてみたり、道具を使って水をかき混ぜてみたりと、さまざまな感触を知ることができ、子ども達も夢中で遊ぶことができました。

【音響・ひな段】

運動遊びの際に音楽をかけながらかけっこしたり、サーキット遊びを楽しんでいます。

音楽をかけることで楽しい気分で身体を動かすことができ、曲に合わせて振付をみんなで覚えて楽しく踊ることで聞く力をはじめ自己制御と集中力を養っています。

園行事ではひな段を利用し歌を披露しています。子ども達の日頃の楽しんでいる歌を保護者に見てもらえる場なので、狭いステージでもひな段を利用することで全員がどこからでも見えやすく、子ども達一人ひとりが自信を持って歌を表現することができるようになりました。



3. その成果と評価

巧技台で遊ぶ中で様々な運動や身体の使い方ができるようになり、積極的に身体を動かそうとする姿も見られるようになりました。組み合わせや高さを変えることによって、新しい遊び（運動）ができることを喜び、楽しんでいます。「できるかな？」と不安さを見せる子どももいますが、慎重にゆっくり進み…最後までできた時のその子の表情は満面の笑み。保育者も一緒に喜んでしまいます。できたことが自信につながり、他に苦手なことがあっても「あの時できたように、これもできるかも！」と挑戦する姿につながっているように思います。道具や遊具を使うと運動の幅が広がります。運動遊びの中で様々な動きを経験することで、“運動の楽しさ”を知ることができるようになっています。

また、音響設備は園庭で音楽をかけみんなで踊ったり走ったり、運動会の時に借りる体育館といった広い場所で大活躍しています。音楽があると気分が上がったり、笑顔や元気になったりと雰囲気がぐっと変わります。

4. 今後の課題と展望

子ども達が毎日楽しく通ってくれることが私達保育者の願いです。「今日は何をするのだろう」とワクワクする気持ち、「もっとやってみよう」「これもできるかも！」と意欲的に挑戦する気持ちが持てるような環境を整えていきたいと思っています。

これからも、心身共に健康でのびのびと成長できるよう、今回助成していただいた巧技台や音響設備を活用していきたいと思います。

以上